



2012年3月23日発行
 発行・企画編集=神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局
 発行人・編集人=大石修治
 231-0004 横浜市中区元浜町2-13東照ビル3階
 電話 045-226-5045

Prelude

Published by KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA © 2012

2012
3 | 23 金

「がんばれ! 神奈フィル 応援団」副団長
林 文子 横浜市長

対談

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
大石修治

私たちの街にオーケストラがある。
 それが横浜の誇りです。

神奈川フィルは、
 横浜の文化芸術の
 担い手。なくすわけに
 はいきません。



大石—神奈川フィルをいつも応援していただき、ありがとうございます。ブルーダル基金は、3月14日で5,000万円となりました。そのうち個人の方からは2,700万をいただいております。どんどん応援の輪が広がっていて、本当に有難いです。私たちは年間150回演奏会をしておりますが、そのうち多くが横浜での開催です。また横浜の小学生を対象とした「心の教育ふれあいコンサート」を毎年20回開催しています。
 林市長—神奈川フィルさんには、数多くのコンサートを横浜で開催していただき、本当にありがとうございます。大人はもちろんお子様まで、オーケストラを生で聴く機会があるということは、横浜市にとって大変素晴らしいことです。世界を代表する国際都市には、必ずといっていいほど楽団があります。横浜市にとって、こんな素敵なオーケストラがなくなるなんて考えられません。

神奈川フィルさんの演奏を聴いて、非常に調和がとれていて、背筋がぞくぞくしました。一流の音楽を聴くと、本当に生きていてよかったと心から思い、「こんな素敵な演奏を聴かせてくれてありがとう」と、つい言葉に出てしまいます。そして次に、私もやるぞという、前向きな気持ちが心の底からわき上がってきます。また、ガラコンサートやポップスコンサートでは、クラシックの重厚さから、がらっと変わって軽やかな世界に入っていくことができます。もともと音楽性の高い方々がポップスを演奏されるので、軽やかな中にも深みがあり、「香り高い演奏」を楽しませていただいております。

大石—ありがとうございます。神奈川フィルに期待することはございますか？
 林市長—音楽の原点というのは、クラシックだと思います。今、若い人たちはクラシック離れとも言われていますから、一番感受性が豊かなときに、音楽の原点、クラシックを知り、親しんでいただきたい。たとえばヴァイオリンは「神様の贈り物」と言われていますよね。あの小さな楽器から、信じられないほど繊細な、そして豊かな音色が奏でられます。小編成でもいいから学校現場の子供たちに本物の音楽を届けていただきたいのです。間近で楽器を目にして、美しい音楽を聴けば、将来のクラシックファンが増えることでしょ。

生きる希望を
 与えてくれる。
 一流の音楽には、
 そんな力があります。

大石—市長にはいつも神奈川フィルの生演奏を聴いていただいておりますが、いかがですか？
 林市長—何より弦楽器と管楽器のバランスが絶妙で素晴らしいです。特に私はマーラーが好きで、

大石—25年度の横浜のフェスティバルのテーマは「音楽」だとかかっています。

林市長—横浜芸術アクション事業では、平成25年度に「音楽」のフェスティバルを計画しています。その中核になっていただくのが神奈川フィルさんです。たくさんの方が横浜に観光にいらっしゃるのですが、それだけではなく「毎年、この時期にこの街に行けばこれが見られる」というものが必要です。一年のある時期には、横浜でみんなでウキウキワクワクすることが体験できる。そんな文化芸術で活気にあふれた街にしていきたいと私は考えています。
 大石—がんばらなくてははいけませんね。最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

林市長—自分たちの街にオーケストラがあるということは、大変誇らしいことです。皆さんとともに神奈川フィルさんを盛り立てていきましょう。コンサートにいらしていただき、神奈川フィルさんの奏でるハーモニーを体感していただければ、大ファンになるはず。神奈川フィルさんにも、市民の皆さんに気軽に楽しめ、リラックスして聴いていただけるコンサートを企画していただきたいですね。たとえば「あなたのリクエストにこたえる音楽会」というのはいかがでしょうか。聴きたい曲をプロに演奏してもらうなんて、とても素敵だと思います。

大石—今度、開港記念会館でもコンサートを開催させていただきます。
 林市長—趣のある歴史的な建物で開かれるコンサートは、横浜らしく楽しみです。神奈川フィルさんは、きっとこの危機を乗り越えて、もっとたくましくなっていくと思います。ブルーダル基金は、市民の皆さんも神奈川フィルの皆さんも、オーケストラについて改めて考えることができるいいチャンスになりました。文化芸術で横浜を潤いと活力のある街にしていきたいためには、神奈川フィルさんのお力は欠かせません。皆さんと一緒に、これからも神奈川フィルさんを応援していきましょう！ よろしく願いいたします。



2012年、新たなる創造へ



マーラーとその時代
 — 爛熟のウィーンへの旅 —
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 2012-2013 定期演奏会

神奈川フィルは常任指揮者・金聖響とともに、グスタフ・マーラーの絢爛たる交響曲の世界を旅してきました。2012年4月からの新シーズンでは、マーラーが活躍したウィーンに焦点を当てて、その時代を立体的に描き出します。ウィーンが懐胎した薫り高き名作を巡る旅へと、ご一緒に出かけましょう。

会場：横浜みなとみらいホール

- ◎ 4月20日 [金]
 指揮=金 聖響
 マーラー=交響曲「大地の歌」他
- ◎ 5月25日 [金]
 指揮=現田茂夫
 ワーグナー=楽劇「ニーベルングの指環」
 管弦楽曲抜粋 他
- ◎ 6月22日 [金]
 指揮=金 聖響
 R. シュトラウス=交響詩
 「ツァルトゥストラはかく語りき」他
- ◎ 9月15日 [土]
 指揮=伊藤 翔
 ブラームス=交響曲第2番 他
- ◎ 10月12日 [金]
 指揮=キンポー・イシイ=エトウ
 ブラームス=ヴァイオリン協奏曲 他
- ◎ 11月23日 [金・祝]
 指揮=金 聖響
 R. シュトラウス=交響詩「英雄の生涯」他
- ◎ 2013年1月25日 [金]
 指揮=下野竜也
 ブラームス(シェーンベルク編曲)
 =ピアノ四重奏曲第1番 他
- ◎ 2月15日 [金]
 指揮=金 聖響
 マーラー=交響曲第10番
 (デリック・クック補筆完成版)
- ◎ 3月2日 [土] 指揮=金 聖響
 ラフマニノフ=交響曲第2番 他

※お問い合わせ先は、裏面をご覧ください。
 グスタフ・クリムト(1862~1918)の代表作「接吻」(1908年)は、爛熟したウィーンの時代の空気を象徴する作品で、同時代のマーラーともしばしば対比される。